

平成 15 年度第 6 回法務委員会議事抄録

日 時 平成 15 年 10 月 7 日(火) 1300～1700
場 所 操縦士協会事務局

1. 平成 15 年度第 5 回法務委員会議事録確認
2. 池田良彦教授の講義総括
 - ・総括を行い今後の研究課題、優先順位を確認
 - 過失責任論の変遷を理解する
 - 過失認定の仕組みを理解する
 - 事故が起きた時に具体的に過失責任、過失認定が、どのように関わってくるのかをまず法務委員が理解し次に協会員に広く紹介したい
 - 顧問弁護士を囲んでのディスカッションを持ってみてはどうか
 - 他、意見多数
3. 小型機事故に対する取り組み
 - ・小型機事故全般に対して法務委員会としての取り組み（委員会ウェブサイト用スクリプト）を見直し、次回 GA 委員会へ提出する
 - ・ウェブサイトに掲載する項目（事故の履歴）の更新は染谷委員に委任
4. 池田先生のアドバイスより航空機事故の裁判記録（刑事確定記録）に学ぶことによって操縦士の過失責任を研究する
 - ・過去、航空裁判において有罪判決となった雫石事故、宮崎オーバーラン事故や女満別事故と有罪にならなかった大分オーバーラン事故の違いを研究する事で、今後の取り組みの参考になるのではないか
 - ・上記の裁判記録を閲覧するため、協会会長名で当局へ申請する必要性が生じたため、原案を作成し、理事会へ提出する事とする
5. 第 156 国会、衆議院国土交通省委員会議事録紹介（平成 15 年 5 月 27 日）
 - ・焼津上空ニアミス事故で、関係者が書類送検された際、航空機事故調査報告書が書類送検に利用された件で、議員の質問と国土交通大臣の答弁を紹介

次回の法務委員会は 11 月 11 日（火）予定

以上